

令和6年度

「新編 新しい国語」活用のでびき 3

未来へつなぐ学力

— 各種調査の分析から



この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

「新編 新しい国語」が
しっかりサポート!

ICT機器（端末）の操作に必須の タイピングスキル

ICT化の進む社会においては、小学校段階からキーボード入力に必要なタイピングスキルを高めることが求められています。「新編 新しい国語」では、その基盤となるローマ字教材の充実と、QRコンテンツによって、子どもたちの学習をサポートします。

キーボードによる1分間あたりの文字入力数が15文字未満の児童の割合

51.2%

児童生徒の情報活用能力の把握に関する調査研究【情報活用能力調査(令和3年度実施)】～速報結果～より

ローマ字教材の充実

ローマ字の学習が始まる3年生から4年生にかけて、計3つのローマ字教材を配置。定着の難しいローマ字学習を手厚く扱っています。

ローマ字で表記されたものが正しく読めるかを問う問題の正答率

54.6%

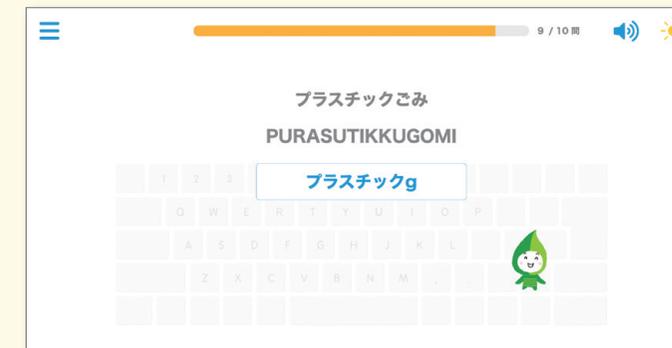
令和3年度標準学力調査(1学期)
小学校4年国語/大問③(3)

効率的なキーボード入力のためには、ローマ字の習得が不可欠です。しかし、その定着には課題が見られます。



3下P37「ローマ字②」

QRコンテンツ



QRコンテンツには、**タイピング練習コンテンツ**を掲載。いつでもどこでも練習ができます。



実際にアクセス
してみてください!
(リンク先は6年の
コンテンツ)

<https://tsho.jp/06p/k/ty?b=614>

特長

- ・インストール不要。インターネットとブラウザがあればどこでも利用可能。
- ・全学年で利用可能（低学年はサイトからのアクセスのみ）。
- ・教科書との関連を図り、学年段階に合った例語を提示。
- ・アルファベット→五十音→単語→短文と、習熟段階に応じた練習ができます。
- ・単語、短文入力では、漢字や片仮名への変換も練習。より実用的なスキルを育成できます。

「現在」から「未来」へつなぐ学力を

予測不能な未来を生き抜くためには、情報を主体的に活用し、納得解を導き出す力が重要です。その力を育てるために、国語科には何が求められるのか。一筋縄ではいかないこの難題に、「新編新しい国語」は正面から取り組みました。



確かな分析に基づき、未来に生きる学力を育てる

未来に必要な力をつけるには、まず目の前の子どもたちの課題を明らかにすることが必要です。全国学力・学習状況調査や、東京書籍が実施する標準学力調査等の分析から見えてきた課題と、子どもたちに必要な力との両面から、教科書編集におけるポイントをご紹介します。

各種調査から見える課題

「新編新しい国語」のポイント

- 1 言葉を使う「土台」を作る
- 2 必要な情報を関係づけて解釈する
- 3 目的に合わせて適切に表現する

未来に必要な力へ

1 言葉を使う「土台」を作る

課題

文法事項の定着

文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題の正答率

43.8%

令和3年度全国学力・学習状況調査
小学校国語/大問③三(2)オ

「すぐに」がどの言葉で修飾するのかを問う問題。修飾語の中でも、連用修飾に関わる理解に課題があります。

接続語を使って内容を分けて書く問題の正答率

18.6%

令和2年度標準学力調査(3学期)
小学校6年国語/大問③(4)

一文を二文に分けて書き直す点については従来より課題が見られますが、依然として定着していない実態があります。

情報を解釈して表現するためには、その土台となる「言葉の使い方」が身につけていることが必要です。しかし、こと文法事項においては、定着に課題があることが分かります。

「言葉相談室」でつまづきをフォロー

今回の教科書から新設された「言葉相談室」では、文法事項のつまづきやすいポイントを取り上げて教材化。言語運用の基盤となる知識・技能をしっかりと定着させます。

●どこが分かっていないかな

言葉相談室 その修飾は、どこにかかるの？

夢中になっ、読んだ本のこと支連と話すことがある。本は動詞のように手帳に味わえるものではないかもしれないが、想像力を養うことができる。おたがいの想像がもうか……。

上の文章は、明らかにまちがっているわけでは
ありません。しかし、あいまいなところがありま
す。どこが分かっていないでしょうか。

①ここは、修飾する語句のわり
かたがわがらわれない
②夢中になっ、
友達と話すことがある
手帳に味わえる
手帳に味わえるものではない

①毎日、山が降った。
②山は降りました。
③山が降りました。
④山が降りました。
⑤山が降りました。

6年P150 「その修飾は、どこにかかるの？」

●どこが分かっていないかな

言葉相談室 どうやって文をつなげればいいのか？

昨日は雨が降ったので、登山は中止になっ
たから、すぐがっかりして、室内プール
に泳ぎに行きついで、楽しい一日だった。

ハテナが昨日あんなことを教えてくれましたが、
ばっばと読むとよく分かります。どこが分か
りにくいのでしょうか。

①昨日は雨が降った。
②昨日は雨が降りました。
③昨日は雨が降りました。
④昨日は雨が降りました。
⑤昨日は雨が降りました。

5年P146 「どうやって文をつなげればいいのか？」

3 目的に合わせて適切に表現する

課題

自分の考えを書く
文章のよさを見つける

考えと理由を明確にして書く
問題の正答率

32.4%

令和3年度標準学力調査（1学期）
小学校4年国語／大問⑥(2)

自分の文章のよいところを
見つける問題の正答率

37.9%

令和4年度全国学力・学習状況調査
小学校国語／大問③二

メモの情報から、文章の中の「理由」に当たる内容を記述する問題。考えと理由との関係を捉えることに課題があります。

令和4年度の調査では初めて「書くこと」の「共有」に関する指導事項が取り上げられ、その課題が明らかになりました。

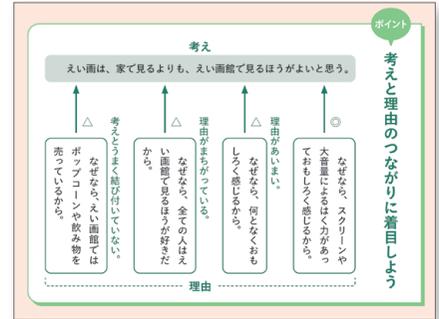
「書くこと」の大きな課題として、**考えを理由とともに表現する力が十分でない**ということが分かります。また、**自分の文章を見返す**ことは、「書くこと」の力を高めるうえで重要な要素となります。

「情報のとびら」で知識・技能を押しさえる

今回の教科書から新設された「情報のとびら」では、情報の扱い方に関する事項を取り立てて教材化。自分の考えを理由とともに表す際に必要となる知識・技能を確実に習得できるようにしています。



3下P92 「考えと理由」



4下P93 「理由をぎんみする」

「書くこと」の系統的な学習を実現

「書くこと」領域では「意見をまとめる」系統を設け、理由とともに意見を書く学習に焦点を当てています。また、学年最後の「一年間をふり返る」系統では、自分の文章を見直してよいところを探す学習を設定。手薄になりがちな指導事項も漏れなく扱うことができます。



4下P131 「十年後のわたしへ」

課題

「話し合い」の学習

立場や意図を明確にして話し合い、自分の考えをまとめる問題の正答率

47.8%

令和4年度全国学力・学習状況調査
小学校国語／大問①四

他者と協働して新たな考えを生み出すのに重要な「話し合う」力。しかし、その定着には課題があることが分かります。

QRコンテンツの活用で学習効果を高める

教科書紙面だけでは課題意識を持たせづらいのが、「話し合い」の学習。新教科書ではQRコンテンツでモデル動画を視聴することができるので、目指す力に沿った授業が展開できます。

「うまくいった例」を動画で確認することで、課題意識を高めます。



5年P118 「問題を解決するために話し合おう」

こんな工夫も！

「読む」と「書く」を

【情報】でつなげる

未来に生きて働く力を身につけるためには、情報の解釈（インプット）と表現（アウトプット）を一連の課題解決のプロセスとして意識することが必要です。しかし一方で、複合領域的な目標設定は、指導の負担感や評価の難しさを生む懸念もあります。

新教科書では、「説明文」と「書くこと」の教材を「情報のとびら」でつなぐことにより、各領域のねらいを焦点化させつつ、関連的に指導できる構成を実現しました。

5年生の例

説明文	インターネットは冒険だ 📖 要旨をとらえる	文章構成のつながり
情報	事実と考え（関係） *事実と考えを区別する意味を学ぶ	
書く	地域のみりよくを伝えよう 📖 筋道を立てて書く	題材・テーマのつながり
：	：	
説明文	和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる 📖 情報を重ね合わせて読む	論証・説得のつながり
情報	文章と図表（整理） *情報を図表で整理する方法を学ぶ	
書く	和の文化を発信しよう 📖 目的に応じて情報を関係づける	：
：	：	
説明文	「弱いロボット」だからできること 📖 多角的にとらえる	：
情報	考えのちがひ（論理） *意見が対立したときの考え方を学ぶ	
書く	どう考える？ もしもの技術 📖 反対意見を予想して書く	：
：	：	